



KITAYAMA arm chair

Material : 北山杉 / スチールプレート



自然に囲まれた人々の憩いの場 “森のカフェ”

植物園内のレストラン“森のカフェ”を訪れた際、お年寄りから子供まで非常に幅広く多くの人が憩いの場として活用している姿が印象的だった。“森のカフェ”は単なる施設内のレストランであることを超え、人々がそこに集いコミュニティを形成する空間として機能している。そこで今回の椅子をデザインするにあたって、「誰もが使いやすいと感じ、また親しみを覚えられるような椅子」を設計趣旨に定めた。

古くから大事にされてきた「北山杉」を素材として用いること、またこのカフェが北山駅のすぐ近くに位置することから、「**Kitayama**」と名前をつけ、2種類の椅子をデザインした。

風景を眺めながらくつろげる椅子

見学の際に見たウッドテラスからの眺めが素晴らしく印象的であった。そこで、新しい椅子を提案するにあたって、よりくつろぎながら風景を楽しめる形の検討を行った。

座の角度をやや深めにとり、削り出された背、座、手すりが体を包み込むように設計し、またウッドデッキの雰囲気合うよう、メインの材料には北山杉を選択した。

防腐処理に関しては、柿渋塗料を使用することを想定している。木材本来の触り心地を残したまま、屋外での利用を可能にするために、古くから重宝されている天然由来の柿渋がふさわしいと考えた。

今後を見据えた”森のカフェ”の統一性

今回私たちは屋内用と屋外用、二脚の椅子を提案している。これら2脚の椅子を、施設の印象を決める重要な要素として捉え、そのデザインを屋内と室外で統一することが施設のブランディングに大きく貢献すると考えた。

実際に見学に訪れた際、多くの外国人観光客の姿を目にした。京都の伝統的な素材である北山杉を用いて、屋内外のデザインを統一することで、このカフェが今後より一層、地域住民、さらには観光客にとって象徴的な場所になることを期待している。

